

## 1) ペリオメンテナス治療の長期継続症例について 山田 貴子

長期に渡ってメンテナンス治療を行っている患者さんの概要を報告し、メンテナンス時の注意点などを発表します。

患者さんは、 歳 男性 2001年4月初診時の所見では、全顎的にプロービングポケットが深く、臼歯部には7mm程のポケットが存在し、不良補綴物も認められました。

歯周初期治療から歯周外科処置を経て2005年6月に歯周治療が終了しました。

治療後、4mm以上のプロービングポケットはなくなり、その後メンテナンス治療に移行しました。

現在も月に1回の間隔で来院されていますが、特に炎症症状もなく現在70歳を超えられています。残存歯24本残存しポケットも特に深くなっている部分もなく経過は良好です。

患者さんから、あの時歯周治療をしておいて非常に良かったと今も大変喜んでもらえます。私自身もこの方に歯周治療を理解してもらう事が出来、又うまく導く事が出来た喜びと同時に、現在も定期的に来院して頂いているので、その責任の重さも痛感している今日この頃です。今後も注意深くメンテナンス治療を続け経過を観察して行きたいと思えます。

## 2) 手術直前の準備について - 患者さんの入室から麻酔まで - 河合 貴子

各種手術前の準備について発表させていただきます。

その日の手術がスムーズに進むかどうかは、事前の準備によって大きく左右されます。完全な準備を行うことにより術者の集中力を高い状態に保つことが出来ます。

どんな物でも何か一つ、準備物を忘れてしまうと、手術の流れが止まり、術者やスタッフに良い影響を及ぼしません。そればかりでなく、患者さんにも負担をかけてしまいます。そんなことは決してあってはならないことです。手術を安全に行う事は、私たちの責務であります。

そのためには、準備は前日までに完全に行っておく必要があります。しかし、手術直前にしか準備できないものもあります。今回は、患者さんの入室後から麻酔までの間の準備について、マルビル診療所および東大阪診療所の両方について発表します。

## 3) 電話対応の注意点 長濱 香織

電話対応の難しさは、こちらの表情が相手側から見えないことです。

面と向かっていれば、多少無愛想な話し方や甘えた話し方をしても表情でカバー出来ることもありますが、電話ではそれが出来ません。話し方によっては、相手を不愉快な気持ちにさせてしまいます。このような事を重ねると、医院に対する信用を損なうこととなります。

患者さんの多くは、初診の予約や予約の変更で電話を使用されます。患者さんの言葉を間違いなく聞き取り担当医およびスタッフ全員に伝達することが大切です。

電話で事前に患者さんの主訴や希望などの情報を聞いておくことで、患者さんが来院される前に準備ができ、処置をスムーズに行うことが可能です。それにより、患者さんの待ち時間を減らすことが出来ます。また、患者さんの希望にも的確に応じることが出来ます。

電話の対応は、その時に考えてできる物ではありません。日頃から注意し、意識を持って練習することが大切です。今回、それらの注意点について発表させていただきます。

#### 4) 各種物品および材料注文時の注意事項について

松本智恵美

在庫管理をするにあたって大切なことは、普段から購入材料の値段・納期・品質期限などを管理し記録することです。当医院はISO9001・2000を取得しているため記録簿は定期的に内部監査にてチェックされています。

本年7月より施行された医療安全の確保の指針では、院内感染と共に医療機器の安全管理・医薬品の管理が義務づけられました。医薬品や劇薬などの管理には細心の注意を払わなければなりません。

材料の購入に際しては患者さんの事を一番に考え、少しでも良い材料を安価に確実に購入するようスタッフ全員が自覚しなければなりません。良い材料や最新の機器を備えることで、より高い治療をスムーズに患者さんに提供することが出来ます。また、患者さんへの負担を減らすためにも大切です。

今回、業者や薬品会社などから購入する際の注意点、そして、スタッフにも気を付けてもらいたい事などを発表します。